

事務局からのご案内

* 会員、市民、有識者などの皆様との対話を核として、関係機関との合意形成を大切にしながら、活動を進めております。会員・市民・有識者の皆さまからのご意見をお待ちしております。

- ・ ホームページ(財団江戸城)のお問合せコーナーからも、送信できます。
- ・ Gメールアドレス zaidanedojo@gmail.com から送信できます。
- ・ Eメールアドレスをご登録いただいた場合には、セミナー情報・ニュース等をご案内致します！よろしければ、お名前(フリガナ)ご記載のメールを、当会Gメールアドレスまでお送りください。
- ・ ご住所や連絡先の変更、休会等、速やかにご連絡を戴きますようお願いいたします。また、手続上の不行き届きがありましたら、ご容赦戴きますようお願いいたします。ご一報戴ければ幸いです。

有識者の講演・セミナー予定 (オンラインセミナー)

江戸城全体整備構想に関連するテーマを選定し、江戸城総構え、建造物、御殿の意匠、江戸の文化等の観点から学び、会報誌やホームページを通し、広く一般社会に公開します。

<2024年度開催・予定：テーマ(講師の先生)>

- 6月：「江戸城総構え」を俯瞰して(後藤 宏樹)
- 9月：加賀と江戸のつないだ”江戸三度”(浅田 豊久)
- 10月：東京の台地に横たわる江戸城の位置付けを読む(岡本 哲志)
- 11月：「200年前の江戸絵巻「熙代勝覧」を読み解く」(小澤 弘)

イベント詳細のご案内は
ホームページで
お知らせします

<各イベント共通情報>

場所(通年)：日比谷図書文化館(予定) / オンライン(YouTube、ZOOM)
対象者と参加費(全会)：会員及び一般市民、参加費：2000円 学生等無償先着7名迄

【編集後記】

(Y) 人と情報が過度に流れ込み、貯めこんでいる東京。循環の都市であった江戸の価値を再認識するで、過去・現在・未来、他の都道府県や海外からのそれらの流れが、穏やかに巡り合う方へ向かっていく事を願います。

(A) みなさまのご住所、お名前、「想い」もって確認作業をしています。変更や間違いありましたらご一報ください。

(H) 遂に、愈々が実感です。世に埋もれている価値を信じ、社会課題にするには、20年から30年の運動が必要、即ち古今東西の前提になって来たといわれています。当会が先んじて一石を投じた誇らしい感情は、皆様と共に大願成就までお預けとしましょう。問題はこれからです。運動は持続的な継続こそ力です、参画の意志あるかた、ご一緒に進めましょう。心よりお待ちしております。

お問い合わせ先

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス
〒102-0075 東京都千代田区三番町1-16 Eメール：zaidanedojo@gmail.com
ホームページ <https://zaidan-edojo.or.jp/> FAX :03-3977-3510
※現在、新型コロナウイルス対策やデジタル化の推進のため、テレワークを中心に活動しております。
ご用の際はEメールもしくは郵便にてご連絡頂けましたら幸いです。

近未来の世界遺産を目指す 江戸城・城下町ルネッサンス

2024年10月29日
第19号

ご案内

- ・ 理事長メッセージ
- ・ 特別企画 当会の運動展開・Review 特集 江戸城本丸
- ・ 会費納付・寄付金募金のお願い

歴史と伝統文化、水辺の美しさある

世界遺産を目指す江戸城再生



日頃より当会の活動に対し多大なご支援を賜り、篤く御礼を申し上げます。

東京都は、現在、*「大綱」の策定を進めております。「都全体を俯瞰した文化財活用の基本方針」により、最小行政単位である区の領域を超えた取り組みが法的に初めて可能となります。

明治初年から156年を経た今、東京俯瞰する全体の歴史まちづくりは、漸く、遂に、動き出しました。同時に、厳格な評価基準による世界遺産登録を目指すことは、歴史まちづくりを確かなものとするでしょう。これらの成果は、行政はもとより民間、市民及び関係者、関係機関みなさまの長年の努力により、今日に至ったものであります。改めて、心より、深く、敬意を表します。

この画期的な一歩を、健全なまちづくりとして、確実に推進していく為には、市民や関係者のさらなる持続的な参画、即ち民間の力が鍵となると存じます。

2004年、当会が江戸城再建の産声を上げてから20年、世界遺産登録を目指してから6年、微力ながら、先んじた一石を投じ、一定の役割を果たしつつあるのではないかと存じます。

今、新たなステージに入り、事業と運動の調査・研究並びに普及・啓発、提言活動を検証して参ります。

さて、次ページのマップは2021年の基礎調査により旧江戸城及び城下町の外濠内の広範囲に及ぶ歴史的建造物等の600ヶ所を「歴史文化のゾーニング7つ」として試みたもので、江戸城の5つの城門から放射線状に延びる旧街道には巨大城郭都市の痕跡が数多くみられます。1636年三代将軍家光は「最強の要塞・外濠の完成により江戸城は完成した」と、云われています。それから400年を経た2036年迄に江戸城と一体性ある石垣や城門の復元を進め、将来は巨大城郭江戸城の復元を目指すとしています。

民間資金による「江戸城本丸御殿の復元」は、まさに、その象徴となるでしょう。

江戸時代の武士や農民、職人、商人で構成される社会のしくみや生活文化は世界に類を見ない特質として評価され、愈々、世界遺産登録により巨大城郭都市東京の完成に繋がるのではないのでしょうか。改めて、みなさまのご支援をとお協力をお願い申し上げます。

2024年(令和6年)10月29日

理事長 浅田 豊久

近未来の世界遺産を目指す - 歴史文化の意義・水辺の美しさを軸にした都市再生の時代へ -

江戸東京が持つ有形・無形の文化財は日本一多い、しかし、宝の持ちぐされ・埋蔵されていることが問題と云われてきた

— 漸く、これらが世界に誇る歴史的建造物群をとして評価される時代への第一歩が東京都・区の計画に現れ始めた —

しかし、この画期的な一歩を、確かな歩みとしていくには、市民をはじめとした民間の力(願うことから行動へシフト)が鍵となる。

VISION 2032

普及・啓発、提言活動

2024年 愈々、動きだす！

江戸の歴史文化遺産の世界遺産登録！

2024年東京都未来戦略・長期計画

2024年都知事選公約(小池百合子候補)

2024年 漸く、遂に、始動！

都の文化財を俯瞰し取組・文化財保護法「大綱の策定」

明治初年以降、初めての歴史まちづくり(都市計画)

千代田区他8区*「文化財保存活用地域計画」

将来 巨大城郭 江戸城復元を目指す！

1636年外濠完成から400年目の2036年

江戸城と一体性ある石垣・城門等の復元を目指す

「史跡外堀保存管理計画」千代田・港・新宿区

さらなる普及・啓発・提言活動の拡充



江戸東京歴史文化回廊「江戸城下町」の歩き方イラストマップ